

新型コロナウイルスを契機に生活様式を考える



令和俱樂部



秋久憲司 金田稔久 西野修平 竹内靖人 田口浩二

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルス感染症による本市経済への影響をどのように分析しているか。

答 業種別では、「卸・小売」「サービス業」、「製造業その他」に大きな影響が出ていると考えられる。

市民が第一



河本英敏 村田隆男 河村美典 政岡大介 近藤吉一郎

予算編成

問 補正予算（第2次）に込めた市長の思いは。

答 第1次補正予算で計上できなかった感染症収束までの追加支援策と収束後を見据え、特に注力すべき独自の景気対策事業を中心に編成した。市

民生活や経済活動の速やかな回復を支援していく。

問 補正予算（第1次）に計上された学生支援の実施状況は。

答 市内の民間賃貸住宅に住する市外出身の学生に対して、一人当たり1万円を支給する学業継続支援事業は、美作大学及び津山高専を通じて500件以上の申請があった。頑張る学生応援事業は合計約950名の応募があった。

学びの保障

問 子どもたちの学びの保障のため、教育委員会が果たすべき役割は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校教育活動は大きな影響を受けた。いかなる理由があろうと、子どもたちには学びや体験の機会を提供し、保障する環境を整えることが、われわれ教育関係者の使命である。学校再開以降の教職員の多忙な状況を踏

まえ、国・県の動向に注視しながら学校スタッフの充実を検討していく。今後も各学校において、学びの保障に専念できるよう様々な手立てを講じていく。

教育環境整備

問 ICT環境の整備により、新時代の学校教育に期待されることは。

答 一人1台のパソコン端末整備により個別学習やインターネット等による調べ学習、外部の他者につながることで、考えを深め合うことが可能となる。また、登校できない状況でも、先生や友だちと双方向でつながり合う学習活動が期待できる。



新たな教育環境に期待されることは？（文部科学省HPより）

問 新型コロナウイルス感染症への対策はどうなっているのか。

答 国が示した「新しい生活様式」への対応は不可欠であり、様々な分野で、状況に応じたきめ細やかな支援や対策を講じていく。飲食・小売業へは、クーポン券の発行やプレミアム率30%の地域商品券の発行を考えている。また、教育旅行助成事業やスポーツ大会合宿誘致事業にも取り組んでいく。

問 新型コロナウイルス感染症への備えはどうしているのか。

答 市民の生活を守り、必要不可欠な業務を遂行していくために衛生品の備蓄をする。教育現場では、今回、入手困難となったアルコール消毒液の代替品の研究を進めていく。

通信環境整備

問 「GIGAスクール構想（※1）」で整備するWi-Fi環境を、災害時に活用できないか。

答 教育用ネットワーク環境の利用にあたっては、セキュリティを確保するための検討が必要となる。環境整備の必要性は認識している。調査研究を進めていく。

業務効率化

問 特別定額給付金の給付に、多大な労力と時間がかかったが、RPA（※2）は導入しているのか。

答 保育施設入所認定事務において、実証実験を行った。事務処理の効率化は高まったが、データの電子化で課題も見つかった。今後、申請書類の電子化を検討する中で活用を図っていく。



効率的な事務処理を！

財政

問 今後の財政の見通しは。

答 事業・経費の見直しを行いながら、持続可能な財政運営に努めていく。

※2 RPA…ソフトウェア・ロボットによる業務自動化技術

※1 GIGAスクール構想…児童生徒向けの1人1台端末整備や高速大容量通信ネットワークの整備など、ICT教育環境を整え、創造性を育む教育を実現し次世代の人材を育てる国の構想